

(事例) 大学を中核とした地域イノベーション拠点の形成～北大R&Bパーク～

成功の鍵

道内産学官が、連携と集中により「北大R&Bパーク構想」を推進

概要

- 北大北キャンパスを中心に、北海道内の産学官が連携して、それぞれの機関が持つ研究開発から事業化までの各種施設と仕組みを集中的に整備、構築。既存組織の垣根を越えた一大地域イノベーション拠点が形成、拡大中。
- 当該エリアには、学(北海道大学の「創成科学共同研究棟」、「次世代ポストゲノム研究棟」、「人獣共通感染症リサーチセンター」)、官(道の「道立試験研究機関」、国の「JSTイノベーションプラザ北海道」、「中小機構ビジネスインキュベーション(BI)(20年開設)」)、産(北海道産学官協働センター(コラボほっかいどう)、民間共同研究施設)の研究施設、産業支援施設等が集積中。

北大R&Bパーク推進協議会

北大北キャンパスの研究拠点をソフト面で支援する組織。(平成15年12月設立)(参画11機関、事務局:ノーステック財団)

● 地域連携協定(平成16年7月)

北海道大学、北海道、札幌市、北海道経済連合会、北海道経済産業局の5機関により協定締結。

● 具体的取り組み

第1ステージ(平成15年度～17年度)

- ・R&BPサテライト・ステージの運営
- ・インキュベーションモデル事業
- ・コア・コーディネータ設置 等

第2ステージ(平成18年度～22年度)

- ・事業化フォーラムの運営(事業化プロジェクトの発掘と支援) 等



地域への経済波及効果

- 北大共同研究数の増加(15年度203件→18年度362件)
- 北大発ベンチャー企業39社
- 民間企業によるニコンイメージングセンター、創薬共同研究施設(塩野義製薬株)の設置。

(事例) シリコンシーベルト福岡プロジェクト

成功の鍵

地域の産学官がグランドデザインを描き、一体で推進している点。

概要

- 東アジア地域(京畿道(韓国))、九州、上海、新竹(台湾)、香港、シンガポール等を結ぶシリコン・シーベルト地帯における先進的なシステムLSI開発拠点を構築する構想。
- 中核的な拠点施設として「福岡システムLSI総合開発センター」を整備(16年11月)し、人材育成、ベンチャー育成・支援、研究開発支援、交流・連携促進及び集積促進の5本柱で取り組み中。

知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)

組込ソフトウェアや車載半導体等のアプリケーション開発

九州大学システムLSI研究センター

共同研究

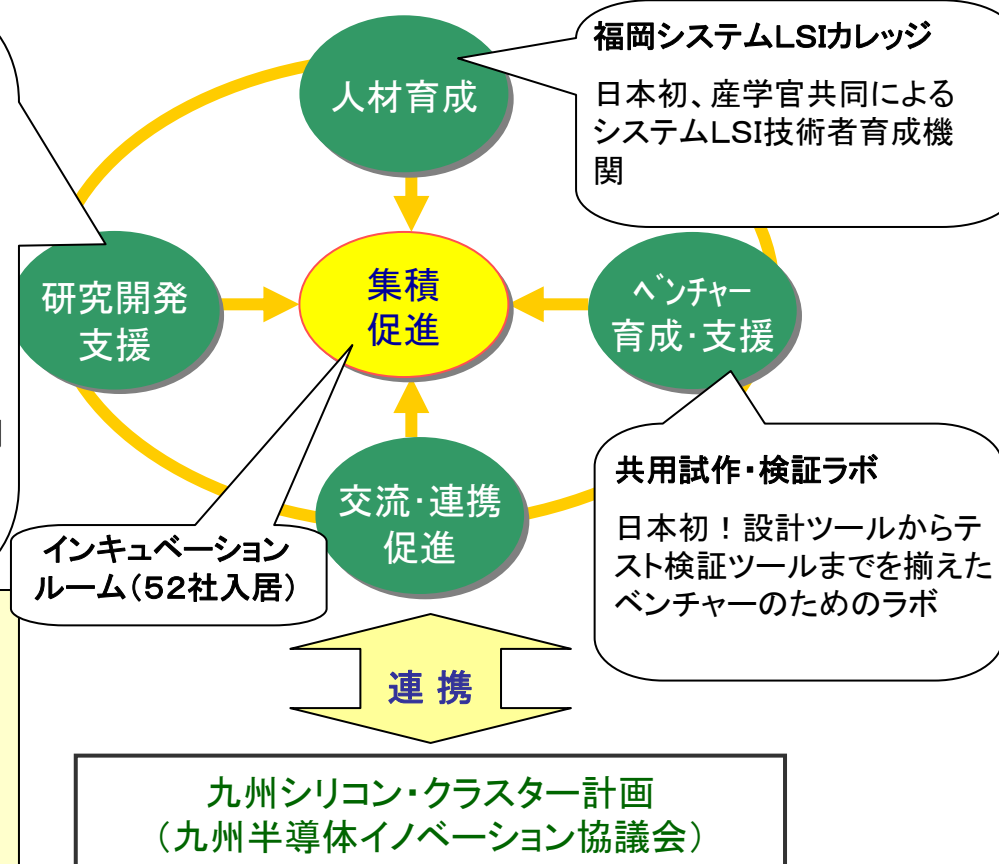
システムLSIフロンティア創出事業

次世代を担うLSI関連研究開発型企業群創出支援(10/10以内補助、2千万円以内/年、2年以内)

<主な関係機関>

(推進組織) 福岡県先端システムLSI設計開発拠点推進会議

(関係機関) 九州半導体イノベーション協議会



地域への経済波及効果

- 福岡システムLSIカレッジ
 - ・4,000名を超えるシステムLSI関連技術者を養成
- 福岡県内のシステムLSI設計関連企業が5年間で5倍、110社集積。
 - ・中小・ベンチャー企業は9社から89社集積
 - ・システムLSI分野の全国約20%の研究者集積。
- 隣接地には、JSTイノベーションプラザ福岡も立地し、連携して支援を展開

(事例) 北海道バイオ産業クラスターにおける土井CMを中心とする取組

成功の鍵

牽引役となるキーマンの存在(クラスター・マネージャー)

～ネットワークの結節点となり、バイオベンチャーの経営支援、ビジネス展開の支援を実施～

概要

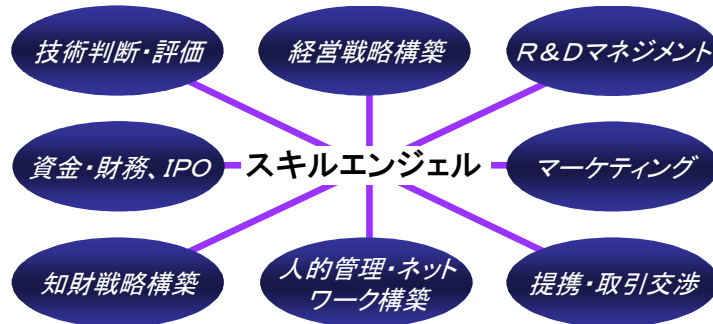
- 関西地域の企業と「北海道バイオ産業クラスター」参加企業とのビジネスマッチング事業を平成15年度から毎年開催。平成19年度から関西マッチングに加え、関東マッチングを開催。
- 世界最大のバイオ・ビジネス・コンベンション「BIO2004(2社)」「BIO2005(4社)」へ、事前に面談先をアレンジした上で、ビジネス・ミッションを派遣。
- バイオベンチャーの経営・事業運営に求められる外部経営人材「スキルエンジェル」を発掘・登録し、「北海道バイオ産業クラスター」参加企業に派遣。

「ようやくお会いできましたね」がマッチングの成功要因

- ・個別商談の相手先企業のリサーチ、予約等事前準備を徹底
- ・秘密保持契約等海外との商談ノウハウのアドバイスやプレゼン・スキルアップセミナーを開催

<主な関係機関>

「バイオ産業行政協働会議(C7北海道)」～北海道・札幌市・当局等7機関、北海道大学、道立食品加工研究センター、産総研北海道センター 等



北海道にゆかりのある人材を発掘・スキルエンジェルとして登録中(21人)



クラスター・マネージャー
土井 尚人(どい ひさと)氏
株式会社ヒューマン・キャピタル・マネジメント 代表取締役社長

地域への経済波及効果

- 札幌IT & BIOビジネス マッチングin関西
 - ・これまでの成約・交渉継続案件は、54件(H15～18FY)
- 「BIO2004」「BIO2005」
 - ・メガファーマなどと20件以上の商談を実施。
 - ・P社は、平成18年4月に米国への拠点進出を実現。

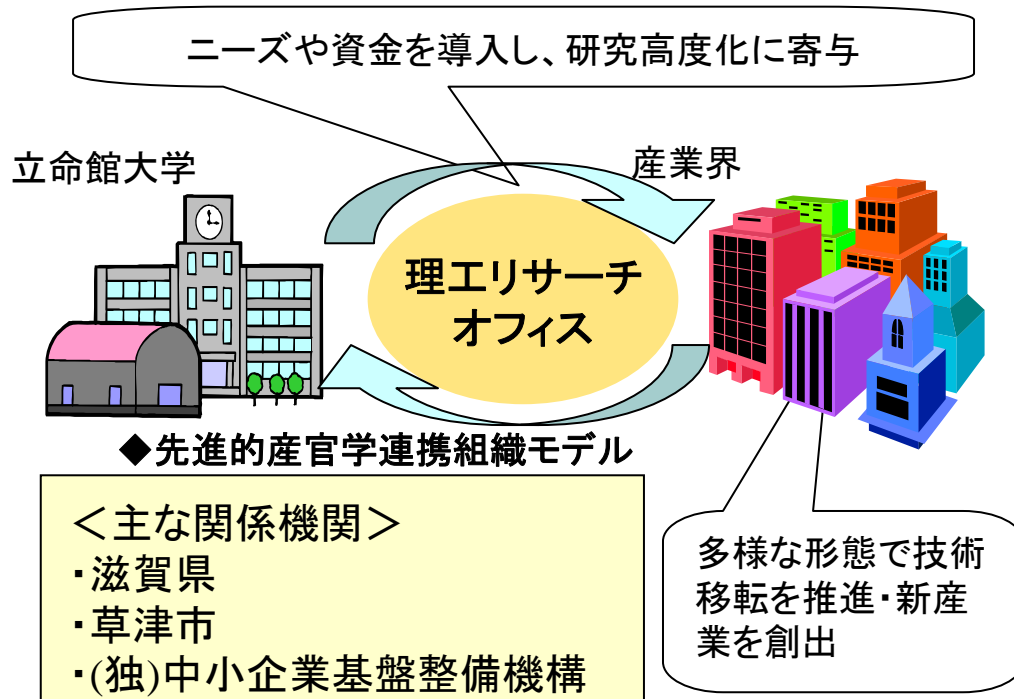
(事例)【立命館大学】先進的産官学連携組織モデルを創出し、新産業創出を先導

成功の鍵

ワンストップの産官学連携組織の設置と30～40代の文系出身コーディネータの活躍

概要

- 1995年に大学初の「リエゾンオフィス」を設置。教員と職員が一緒に企業を訪問し、積極的にニーズを取り込み、大学のシーズとマッチングさせる「コンサルティング型」産官学連携のスタイルを確立。
- 「産官学連携支援機能」に加え、「知的財産マネジメント機能」「インキュベーション機能」「研究支援機能」を「リエゾンオフィス」に集結。現在は「理工リサーチオフィス」として総勢約100名の体制で「ワンストップサービス」を推進中。



地域への経済波及効果

- 産官学連携型研究累計**2,395件**、大学発ベンチャー**24社** ⇒雇用創出**182名**
- BKCインキュベータ入居ベンチャー企業**20社** ⇒雇用創出**595名**、特許の活用・移転件数**24件**等。
- 産官学連携を研究の一層の高度化に結びつけ、21世紀COEプログラム4拠点採択等「成長指向型の私立大学」「研究拠点の自律的成長モデル」を具現化。
- 《大学等に対する産業界からの評価》(経済産業省調査)において、2年(2004-2005)連続**トップ**。

(事例)花巻市起業化支援センター

成功の鍵

「先進的な常駐コーディネーターの配置」と「市行政と一体となった地域企業支援」

概要

- 開設当初(H8年)から民間企業スピンアウト(当時40歳)の常駐コーディネーターを配置。
(⇒「経営・技術・営業等の専門知識・経験を伴った支援」及び「異動により阻害される継続的な支援」の確保が狙い)
- 「入居型のインキュベーション施設」であると共に「市の内発型の産業振興策」の中核的機能を担う。
- 開設10年を迎え、新機能として研究施設(岩手大学複合デバイス技術研究センター)を設置。

花巻市
～産業振興策～

企業誘致

有機的な連携

内発型
産業振興策

施策展開

岩手大学花巻サテライトを開設し、地域企業への研究開発支援機能を追加 (H19.2～)

花巻市起業化
支援センター

3名の常駐コーディネーター
(全て民間企業スピンアウト)による総合的な支援

花巻市ビジネス
インキュベータ

花巻市賃貸工場

製造業&都市型産業 (IT・福祉)
のインキュベータ
(平成12年度補正で、整備)

企業誘致及び支援センター退所後のセカンド
ステージ

地域への経済波及効果

- 退所企業の市内展開
(退所企業数32社のうち、市内に自社工場展開4社、賃貸施設に移転7社。定着率は約35%)
- 新規雇用の創出
(延べ300人を超える雇用を創出。入居企業の従業員は、常に総勢100名程度。)
- 市産業振興策の牽引役
(市施策「内発型振興(地場企業支援)」の実行部隊として産学連携の発掘・マッチング等)
- 花巻市の「広報塔」
(先進的な取組に対する視察受入は過去3年間で約3,000名。各種メディア掲載もあり市のPR果に資し、企業誘致に貢献)

<主な関係機関>

- ・花巻市(開設者)
- ・JANBO
- ・岩手大学

(事例)情報家電ビジネスパートナーズ(DigitalConceptPartners)

成功の鍵

キーパーソンたる学識者の存在、2年間の周到的な制度設計、他地域が使える仕組み

概要

- 関西圏のIT系大企業(16社)とベンチャー企業・大学との**クローズド**なマッチングシステム。
- 書面による打診から実面談に進む**2段階提案方式**を採用。不採用でもレポートを**フィードバック**。
- 公的機関が推薦することにより**発掘とフィルタリング機能**を実現。全国・全世界にネットワーク。

特徴:提案先を指定するクローズドマッチング

地域への経済波及効果

- 技術はあっても事業化力の弱いベンチャーのアイデアを大企業との協働により実現。
- 関西が「情報家電クラスター」として世界中から認識。
- 相談数 153, 提案数 85
面談数 38, 成約見込 2



<主な関係機関>

- ・(財)関西情報・産業活性化センター、大商
- ・管内10、管外9、海外10機関・拠点と連携

特徴:管内ではCMやコーディネーター等が企業発掘と提案及びその結果をフォロー

注:資料公表時には企業ロゴを削除